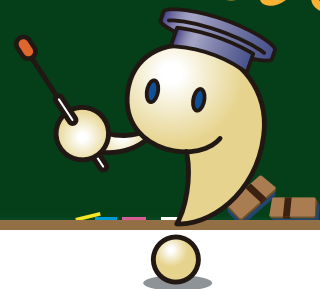


～2023年5月号特集～
「第28回知的財産誌上研究発表会」
論文大募集！

予告締切：**1月27日**、原稿締切：**2月8日**

ご応募お待ちしております！



応募資格 知的財産の実務、研究に携わっている方
(日本弁理士会会員に限りません。学生の方も大歓迎！)
※論文は未発表のものに限ります

テーマ **知的財産について皆様が考える持論**

第28回知的財産誌上研究発表会は、読者からのコメントをフィードバックし、共に考えを深めようということを企画します。応募論文に対しては読者からのコメントを受け付け、2023年9月号の本誌にて掲載する予定です。投稿論文においては、論文本文に加えて、コメントフィードバックを希望する点を1～3点程付記してください。

今回は、原点に戻り、「知的財産について皆様が考える持論」について、論文を広く募集します。誌上研究発表会といっても、真理をきわめるといった深いものである必要はありません。問題提起、経験談、提案等の持論をお聞かせ下さい。

一般に、知的財産に関しては、様々な説が存在します。例えば、進歩性判断における予測できない顕著な効果には、二次的考慮説と独立要件説とがあります。このように、すでにある説について考えを展開してもよいですし、例えば、『拒絶理由通知制度は、瑕疵のある特許出願についても弁明の機会を与えるものだから、どんな人にもある「失敗する権利」と同じだ』といったものでもよいです。

- ・ **字数** 14,000字まで厳守（引用部分、図表を含み、掲載時7頁以内を目安とする）電子ファイルにて入稿
- ・ **応募予告** **2023年1月27日（金）まで**
(予告は任意ですが、応募者多数の場合、応募予告者を優先します)
下記論文提出先まで、以下の情報をお知らせください。
①論文の題名（仮題で可）
②発表者の氏名・住所・職業・資格・勤務先・連絡先（TEL/E-mail）
- ・ **原稿締切** **2023年2月8日（水）**
- ・ **提出先** 日本弁理士会 広報室「パテント」担当
TEL:(03)3519-2361 E-mail:patent-bosyuu@jpaa.or.jp
- ・ **選考方法** 広報センター会誌編集部にて審査します。
審査の結果、不掲載とさせていただきます。

日本弁理士会 広報センター
(パテント編集責任者)
副センター長 茜ヶ久保 公二・加藤 佳史
会誌編集部長 高石 健二